

日本共産党 愛西市議補欠選挙で ふるかわ智康氏で市政変える



<私の決意>

ユーストアに入社して

ユーストア勤務時代38歳で於呂店（おろ：旧浜北市於呂）店長になりました。直後に親会社のユニーに吸収合併され、不当な人事で降格し他店の副店長となりました。異動先の上司からパワハラを受けるなどで、勤務中に倒れ急性心筋梗塞の手術を受けました。しかし障害が残り退職せざるを得ませんでした。

身体障がい者になって

これからの生活をどうしていくのか途方にくれ、身障者手帳や障がい者年金は自力でなんとか取得しました。そこから先はまさに暗中模索、誰も教えてくれませんでした。

「この苦難は、障害をもつ者が皆通る苦難なのか。こんな行政はおかしい。自分が困っている人の助けになりたい」と思いました。

日本共産党に入党

日本共産党の市議さんから、党の懇談会の誘いを受け、話を重ねていく中で「困った人を助ける」党の思想は私の考え方と同じ方向だと思いました。社会の矛盾をどうすれば改善できるのか考えていく中で、この党で学習し、活動していくことが近道ではないが正しい道だと確信しました。



日本共産党愛西市委員会は、4月13日告示で行なわれる愛西市議会補欠選挙の予定候補に古川智康さん（56歳）を決定しました。

<経歴>

1968年、三重県志摩市で生まれ、勝幡小、佐織中学校（柔道部）、津島高校（柔道部）
静岡大学人文学部社会学科（音楽サークル）
1991年 スーパー「ユーストア」入社
2007年 ユーストア浜北於呂店店長
2012年 急性心筋梗塞（身体障害者手帳取得）
2014年 ユニー退社
2014年 東八幡団地自治会長
2020年 日本共産党入党
現在 就労継続支援A型事業所
愛西市消防団（佐織第1分団）

愛西民報2025年春号

日本共産党の見解について紹介します。

発行：日本共産党愛西市委員会（愛西市古瀬町村内337、加藤敏彦 Tel.090-9122-3969）

道の駅に 50 億ではなく 「福祉・防災・子育て」の充実を



- ・福祉の窓口は親身に相談にのり、住民の不安を取りのぞきます。
- ・公共施設は災害時にも活用できるように整備します。
- ・消防団は町の頼れるガードマン。報酬も出勤時の費用弁償も厚くします。
- ・子どもは地域の宝です。地域に学校を残します。子どもが元気なら親も元気！モリモリ給食を食べて健康に。小学校も中学校も学校給食は無償化に。
- ・この地域の歴史・文化をしっかりと継承します。
- ・障がい者・高齢者の防災に力をそそぎます。

「困っている人の助けになりたい」

地方選挙でも

夏の参院選でも

願い実現へ **トコトン** がんばる
日本共産党を伸ばしてください

日本共産党は、全国各地で、住民のみなさんの声で政治を動かし、暮らし・福祉などの願いを実現しています。国政でも、男女賃金格差の公表制度などを実現してきました。

この党の議席を地方でも国会でも増やすことが、願いを実現する確かな道です。

消費税減税
インボイス廃止

中小企業支援で
賃上げを

学費ゼロへ
値上げ中止

暮らせる年金へ
引き上げを

紙の健康保険証を
残せ